

各関係機関長 殿
病害虫防除員

徳島県立農林水産総合技術支援センター
病害虫防除所長
(公印省略)

令和元年度農作物病害虫発生予察情報について

令和元年度農作物病害虫発生予報第7号を発表したので送付します。

令和元年度農作物病害虫発生予報第7号

令和元年8月16日
徳島県

I. 果樹

カンキツ

黒点病

1) 予報内容

発生量 平年並(前年並)で、発生程度は「少～中」

2) 予報の根拠

- (1) 8月第2半旬の温州みかん巡回調査では、枯枝から黒点病菌が確認された圃場率は50.0%で、枯枝中の α 型孢子数は $0.78\sim 6.25\times 10^4$ 個/gであった(前年同時期は圃場率50.0%, α 型孢子数 $1.56\sim 6.25\times 10^4$ 個/g)。
- (2) 8月第2半旬のスダチ巡回調査では、発生を認めていない(前年同時期も未発生)。
- (3) 高松地方気象台が8月15日に発表した1か月予報では、気温は平年より高く、降水量はほぼ平年並で、日照時間は平年並か多く、期間の前半は気温がかなり高くなると予測されており、やや発生助長的な気象条件である。

3) 防除上注意すべき事項

- (1) 枯れ枝を極力除去する。せん除した枝は園外へ持ち出して処分し、病原菌密度の低下に努める。

ミカンハダニ

1) 予報内容

発生量 平年並(前年並)で、発生程度は「中」

2) 予報の根拠

- (1) 8月第2半旬の巡回調査では、発生圃場率が37.5%、寄生葉率が3.1%と、平年(57.8%, 9.9%)に比べてやや低い。
- (2) 高松地方気象台が8月15日に発表した1か月予報では、気温は平年より高く、降水量はほぼ平年並で、日照時間は平年並か多く、期間の前半は気温がかなり高くなると予測されており、発生助長的な気象条件である。

3) 防除上注意すべき事項

- (1) 多発すると防除が困難になるので初期防除に努める。防除の際には、十分な量の薬液を散布する。
- (2) 同一系統薬剤の連用は薬剤抵抗性獲得の恐れがあるので避ける。

ナシ

うどんこ病

1) 予報内容

発生量 平年並(前年よりやや多い)で、発生程度は「少」

2) 予報の根拠

- (1) 8月第2半旬の巡回調査では、発生圃場率が37.5%と、平年(49.8%)に比べてやや低いが、発病度は3.7と、平年(0.6)に比べて高い。
- (2) 高松地方気象台が8月15日に発表した1か月予報では、気温は平年より高く、降水量はほぼ平年並で、日照時間は平年並か多く、期間の前半は気温がかなり高くなると予測されており、やや発生抑制的な気象条件である。

3) 防除上注意すべき事項

- (1) 早期落葉すると樹勢を弱めるので、発生の多い園では収穫後に防除を行う。

ハダニ類

1) 予報内容

発生量 平年よりやや多く(前年よりやや多い)、発生程度は「中～多」

2) 予報の根拠

- (1) 8月第2半旬の巡回調査では、発生圃場率が62.5%、寄生葉率が9.4%と、平年(58.8%、8.7%)並の発生である。
- (2) 高松地方気象台が8月15日に発表した1か月予報では、気温は平年より高く、降水量はほぼ平年並で、日照時間は平年並か多く、期間の前半は気温がかなり高くなると予測されており、発生助長的な気象条件である。

3) 防除上注意すべき事項

- (1) 発生の多い園では収穫後に防除を行う。
- (2) 同一系統薬剤の連用は薬剤抵抗性獲得の恐れがあるので避ける。

果樹共通

果樹カメムシ類(主に、ツヤアオカメムシ、チャバネアオカメムシ)(5月29日付けで注意報発令中)

1) 予報内容

発生量 平年よりやや多く(前年よりやや少ない)、発生程度は「中～多」

2) 予報の根拠

- (1) 7月第4半旬～8月第2半旬における勝浦町での予察灯調査では、ツヤアオカメムシは、7月第4～6半旬では平年並みに推移していたが、8月第1半旬以降は平年に比べて少なく推移しているが、チャバネアオカメムシはほぼ平年並に推移している。一方、上板町での予察灯調査では、ツヤアオカメムシおよびチャバネアオカメムシは平年より少なく推移している(表1)。

表1 予察灯への果樹カメムシ類の誘殺数

[ツヤアオカメムシの誘殺数]

月・半旬	勝浦町					上板町				
	2019年	2018年	2017年	2016年	平年	2019年	2018年	2017年	2016年	平年
7・4	83	51	159	4	63	1	4	22	1	9
7・5	123	65	161	4	61	4	2	29	0	7
7・6	92	277	302	47	115	4	47	44	0	13
8・1	79	773	293	32	189	4	48	9	3	9
8・2	41	725	346	66	195	1	57	15	1	11
8・3		2400	494	101	396		89	68	8	21

[チャバネアオカメムシの誘殺数]

月・半旬	勝浦町					上板町				
	2019年	2018年	2017年	2016年	平年	2019年	2018年	2017年	2016年	平年
7・4	86	18	19	2	46	19	10	19	6	66
7・5	71	34	26	2	47	13	12	34	7	82
7・6	31	106	74	9	90	18	49	97	3	49
8・1	86	109	81	26	92	4	22	19	4	23
8・2	83	277	169	33	130	4	23	20	3	18
8・3		297	149	54	119		59	72	10	33

(3)高松地方気象台が8月15日に発表した1か月予報では,気温は平年より高く,降水量はほぼ平年並で,日照時間は平年並か多く,期間の前半は気温がかなり高くなると予測されており,発生助長的な気象条件である。

3)防除上注意すべき事項

- (1)果樹園周辺の雑木林から成虫が飛来するので,園内を巡回し飛来に注意するとともに,飛来を認めたら早急に防除を行なう。
- (2)夜行性の虫なので,薬剤の散布は夕方か早朝に実施すると効果が高い。
- (3)移動性が高いので,広域一斉防除により防除効果の向上に努める。

II. その他

- 1)防除にあたっては,圃場をよく観察し,適期を逃さないようにする。
- 2)薬剤の使用にあたっては必ず使用基準を遵守し,周辺作物等へ飛散しないように注意する。

発生量の表示

発生程度：甚>多>中>少>無

発生量：多い>やや多い>並>やや少ない>少ない

徳島県立農林水産総合技術支援センター病害虫防除所
URL : <https://www.pref.tokushima.lg.jp/tafftsc/t-boujoshou/>

- 病害虫の発生予察情報,発生状況,防除法等をお知らせしています。

